

H30年度 事業所向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		適切であると思う。特に園庭においては芝生にて思い切り遊べる環境となっている
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		利用者の方の増加状況に応じて対応している
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		着替え（おむつ交換等）と遊びのスペースを棚やついたてで区切り、子どもの視界や活動等に合わせた空間となるよう工夫している 親、子それぞれの生活導線を日々、把握し、問題がみつかれば、すぐに改善している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	<input type="radio"/>		室内外ともに毎日、清掃、危険物がないか確認。玩具等の消毒も適時行っている。多人数利用の場合、パーティションで空間を広げようとしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCDサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		職員全体での話し合いを週1回、さらに適宜行い、共通理解の上業務にあたっている
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		日頃より保護者の意見に傾聴するようにしているが、今年度よりアンケートを実施し、業務改善に努める
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		アンケートの調査結果および事業所の自己評価をホームページで公開していくようにする。また、紙面にて保護者の方に配布していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	今後、必要に応じて検討する
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		外部研修に各自、年間通して、最低1回以上参加している。その他随時参加している
適切な支援の方法	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		アセスメントを定期的に行い、支援計画を作成している。今後も継続していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		保護者の要望を中心に園で作成したアセスメントツールを使用し、行っている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「児童発達（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		長期目標・短期目標を立て、具体的な支援内容を設定し、行っている。継続していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		今後も継続していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		職員で話し合い、新しいプログラムを取り入れるようにしている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	<input type="radio"/>		既存されたプログラムの中でも違ったアプローチの仕方を考えている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		一人ひとりの状況（特性、発達状況等）を把握した上で、個別・集団療育を取り入れている

評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で、必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		出席人数や出席者の状況、天候等に応じて職員間で打合せをした上で支援している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		必要に応じて、今後の改善点など話し合っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は、月の個別記録に全ての領域の内容が入るようにしている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別に懇談を行い、保護者の意見をもとに計画の見直しをしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理者だけでなく、担当者も参加できるとよい（時間帯によっては難しい）
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係した機関と連携した支援を行っているか	○		特に保健センターとは連絡を密にし、利用に向けて親子で事前の見学日を設けている
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		担当者会議で情報を共有している。 母子通園であるため、基本的には保護者の判断のもと、連携がとれるようにしている
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		担当者会議で情報を共有している。 連絡体制を整えている。緊急時は保護者の判断のもと適切に対応する
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所においては巡回相談、療育支援事業を通して子どもに必要な支援の検討を行い、情報を共有している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—	—	小学校や特別支援学校（小学部）等への移行児が現在在籍していないため行っていない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		年間計画に組み込まれており、助言・研修を受けている。また、近隣市町村の児童発達支援施設とも情報交換を行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		市内保育園の見学・交流会を設けている。また、ほほえみ広場（市内保育園での未就園児交流の場）を紹介している。が、認定こども園、幼稚園等との交流は必要に応じて、検討していく
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	自園の療育支援として必要であれば、検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の何気ない会話を大切に、保護者が話しやすい環境づくりに努めている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか	○		ペアレントトレーニングということはないが、家族支援として家族教室の開催、参考図書コーナーの設置等を行っている。また、適時、保護者の悩みに答えている	

評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		今後も継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児の様子を踏まえ、保護者の方要望を確認し、要望実現のために園での目標を立て支援内容や機関を設定し、分かりやすく説明した後、同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に懇談を行うほか、必要に応じて相談できる場をつくるようにしている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		OBの方と交流する場を設けている。負担とを感じる方もおり、必要に応じて支援していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応をしているか	○		適時、迅速に対応するよう心掛けている。今後も継続していく
	37	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、園便り・個別の予定表等を発行している。継続していく
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報が含まれる書類は鍵付き保管庫にて管理し、取り扱いに注意を払っている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		一人ひとりの状況に応じてわかりやすく伝わるよう考えている
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		プライバシー保護の観点から難しい面がある。保護者の方の理解を得ながら進めるとよい。散歩に出かけた時に地域の方と挨拶を交わすようにしている
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか	○		保護者の方へは重要事項説明書にて説明するとともに不審者対応訓練も月1回行っている
	42	非常災害の発生にそなえ、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	○		月1回親子とともに行う。年2回消火器を使って消火訓練も行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		保護者の方に調査票に記入していただいた上で、確認をする
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		除去の必要な児においては、医者からの指示書を見せていただき、コピーを保管し、適切な対応をする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集は作成していないが、研修等での報告をもとに職員で共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待関連の研修へ参加し、職員間で共通理解した。また、緊急時の連絡先等の確認をした
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—	現在はいません